

令和6年度 第2回 富塚西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時： 令和6年9月20日（金） 13時30分から15時45分まで
(13時30分から13時45分まで授業参観)
- 2 開催場所： 富塚西小学校 会議室
- 3 出席委員： 安間忠雄、鈴木和明、吉澤 肇、池谷守司、北山 豊、樽林里奈、神村浩子、
岩渕千江、吉川恵美
- 4 欠席委員： なし
- 5 オブザーバー： 浜松市議会議員 関イチロー、富塚協働センター 今枝 平
- 6 学 校： 稲田晴彦(校長)、鈴木千晴(教頭)、阿部恭大(教務主任)、
坂口千佳(CSディレクター)
- 7 教育委員会： 鈴木陽子(教育総務課)
- 8 傍 聴 者： 1名
- 9 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳
- 10 議長の選出について
司会の岩渕委員から、安間会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
テーマ グランドデザインの実現に向けた「協働」
 - (1) 学校支援の現状
 - (2) いじめ防止の取り組み
- 12 会議記録
司会の岩渕委員から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

テーマ グランドデザインの実現に向けた「協働」

(1) 学校支援の現状と、いじめ防止の取り組みについて

議長の指示により、阿部教務主任から、別紙資料に基づき、現在の学校支援の現状についての報告と、いじめ防止の本校の取り組みについての説明があり、委員からは以下の発言があった。

・いじめアンケートに未回答の方はいるのか。(吉澤委員)

→20人ぐらいの方が未回答である。名前が分かる形でアンケートを実施しているので、今後未回答の方の対応をしていきたい。(阿部教務主任)

・月1回の子供へのアンケートや保護者へのアンケートを続けていけば、いじめは減少傾向になっていくのか。(安間会長)

→情報をいただければ、対応ができるので徐々に減少していくと思われる。アンケートの実施に

よって、見落としがなく把握することができると思う。(阿部教務主任)

- ・さくら連絡網でのアンケートは、誰にも会わずに回答でき、保護者は気持ちを伝えやすかったと感じる。(吉川委員)

(2)グループ協議

委員が2つのグループに分かれ、保護者や地域が学校と「協働」できる支援について協議をおこなった。協議の中で出された意見は下記の通りである。

Aグループ(安間委員、池谷委員、吉澤委員、神村委員、吉川委員)

- ・様々な方にボランティアとして活動してほしいので、ボランティアの周知方法を考えるべき。毎年春に回覧で募集しているが、スルーしてしまう方が多い。自治会の会合の場で周知してもらう方法もあるのでは。また、募集の際、活動内容を大まかに記載するのではなく、できるだけ具体的に記すべきである。
- ・ボランティアは、学校にどこまで入っていいのかわからない。何をしたらよいか明確な指示が必要である。
- ・昼休みの見守りは、地域の方や保護者で出来ると思うが、授業中の支援については、主任児童委員さんや民生委員さんのような学校のルールや守秘義務をきちんと理解している立場の方に入ってもらうのが良いと思う。

Bグループ(鈴木委員、北山委員、榎林委員、岩渕委員、稲田校長)

- ・先生方が事務仕事をしたり少しでも休憩できるよう、週3日の長い昼休みに子供達と一緒に遊んだり、見守りのボランティアを配置するのが良いのでは。「この曜日のこの時間で」とはっきりと時間が決まっていたら、ボランティアも都合がつけやすいので、すぐにでもできる支援だと思う。参加のボランティアは名簿に記名し、名札を付けてもらうなど防犯の面も考えていく必要がある。
- ・保護者が自分の得意分野でボランティアに参加することや、子供たちに保護者の仕事の講話を聴く機会を作るのが良い。身近な大人の仕事の様子などを聞くことにより、子供たちが自分の未来を想像し易かったり目標ができたりするのではと感じる。1度実現できれば、来年度以降も継続可能な支援になるのでは。

(3)全体熟議

各グループの意見を聞き、委員から次の意見があった。

- ・ボランティア募集の際は、内容をもっと詳しく教えて欲しい。詳細が分かれば自分ができる事なのかははっきりするので、参加しやすくなる。休み時間の見守りも具体的な指示をしてくれた方が活動しやすい。(榎林委員)
- ・地元の企業へ学校から呼びかけし、協力していただくのも良いのでは。(池谷委員)
- ・学校支援のグループラインを作り、自治会役員もその中に入り、周知していけば、参加が広がるのではないか。(吉澤委員)
- ・学校側として必要としている事を情報共有して欲しい。ボランティアの伝達方法は、グループLINEを使うのが迅速で簡単にできると思う。支援活動の内容は、学校が求めているハードルが低めの詳細な内容を伝えたい。(北山委員)

- ・文章でのやり取りではなく、説明会を開いて学校のニーズと求めるボランティアについて直接伝える方が良いと思う。(安間委員)

13 報告

岩渕委員から「夏休みとみっこ寺子屋」の活動報告があった。

西会館、新屋集会所の2か所で2日間ずつ行った。友達同士で教え合ったり、見守りボランティアの保護者の方に聞いたりして一生懸命夏休みの宿題を進める姿が見られた。冬休みにも開催予定である。

14 連絡

(1)自治会より

(鈴木委員)

現在、浜松市のこの地域を「ゾーン30プラス」にしようと警察、自治会、学校のそれぞれの関係者で協議を行っている。「ゾーン30プラス」とは、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備のさらなる推進を図るため、最高速度30キロ毎時の区域規制などをして交通安全の向上を図ろうとする区域の事である。これにより子供たちの通学の安全も図れるのではないかと思う。

(2)PTAより

(北山委員)

7月13日に天候にも恵まれて無事に「わくわくサマーホリデー」を実施することができた。また、今年も12月に落語家柳家花いちさんをお呼びして落語を披露していただく予定である。

(3)今後の学校運営協議会予定

教頭から、次回会議は、令和6年11月29日(金)13:30から1階会議室で開催する旨の報告があった。